

学校だより 9月

令和4年8月29日
横浜市立大岡小学校
TEL (711) 0818
FAX (713) 3563

「繋ぐ」想いを形に

校長 馬渡 照代

39日間に渡る夏休みが終わり、今日、子どもたちが元気に学校に戻ってきました。休み中、暑い日が続く毎日でしたが、子どもたちは、どのように過ごしていたのでしょうか。新型コロナウイルス感染の猛威は未だ衰えを知らず、3年ぶりに行動制限のない夏休みとはいえ、多少はストレスを感じながらの生活だったことと思います。今後も、子どもたちの心の有り様をしっかりと見つめ、ご家庭と連携しながら見守っていきたいと思っています。

さて、前期・前半は、新型コロナウイルス感染の第7波が到来する前に、4～6年生の宿泊体験学習を終えることができ、更に、水泳学習、授業参観・懇談会、土曜参観、そして、学年懇談会を実施することができました。授業参観では、家族の方の前で、子どもたちは皆大いに張り切っていつも以上に元気に手を上げ、発言していたように思います。保護者の皆様も、約束事をしっかりと守ってくださり、子どもたちの声と担任の声だけが聞こえる、静かな中での参観となりました。ご協力いただき、本当にありがとうございました。

また、7月19日に「創り上げる」「放送」「集会」の各委員会を中心に、子どもたち主催の「創立150周年記念式典」が行われました。本来は、創立記念日の6月29日に行う予定でしたが、余裕をもって実施するために休み前に実施しました。当日までにひな壇を使った「バースデーケーキ」をクラスごとにテーマに沿って作ったり、「おめでとう」の思いを込めたりレー形式のメッセージを撮影したりと、子どもたちの創意工夫に満ちた、アイデアいっぱいの式典になりました。



私は、子どもたちに『多くの卒業生や地域、保護者の方々の支えに感謝し、その期待に添えるようたくさん努力しましょう。今を生きる私たちには、大岡小学校の過去と未来を「繋ぐ」という大切な役割があります。今日、この場にいる全員で大岡小学校の150年間の歩みをしっかりと受け継ぎ、「大岡プライド」を胸に心を一つにして、151年目に向かって第一歩を踏み出していきましょう。』と話しました。子どもたちの心に伝わったかな、と思っています。

前期・後半からも、子どもたちの楽しみにしている行事が目白押しです。休み明けすぐに、実行委員会を立ち上げて活動を開始するのは、「スポーツフェスティバル」です。特に今年は、150周年イヤーですので子どもたちがアイデアを出し合い、いつもとは違うスポフェスを創り上げてくれることでしょう。また、3学年ずつの開催となりますので、更に迫力あるスポフェスとなると思います。保護者の皆様も、ご期待ください。

また、「大岡の学び発表会」については、新型コロナウイルスの感染状況次第ではありますが、何としても保護者・地域の皆様に参観していただき、子どもたちの頑張りを見ていただきたいと思っています。各クラスの「大岡の時間」では、多くが150周年に絡めた取り組みとなっています。それ以外でも、子どもたちが生き生きと活動しているテーマばかりですので、私は、毎日興味深く見守っています。プロセスを大事にしつつ、どのようなゴールとなって子どもたちが学びを深めていくのか、本当に楽しみです。保護者の皆様には、新型コロナウイルス感染防止対策のため、今後の予定においてご不自由をおかけすることも多々あるかと思いますが、ご理解ください。今後とも、本校の教育活動にご支援・ご協力のほど、よろしく願いいたします。

尚、7月より開始されました歩道橋改修工事に際しまして、多くの保護者・地域の皆様に子どもたちの登下校を見守っていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。まだもう少しばかりかかりますが、引き続き見守っていただけますと幸いです。